



木村洋子議員

## 建設行政

# 浄化槽設置の推進を

## 募集枠を超えて補助

るが町の考えは。

**質問** ①合併処理浄化槽の設置希望者全員に補助金を支給すべきと考えるが、補助はどの程度なされているか。

②豊間根地区の場合、水質保全のためにも、早急に下水道の整備が必要であ

**沼崎町長**

①2月の広報やまだで平成24年度の設置希望者の募集をしたところ、募集基数20基に対し、32基の申し込みがあった。申し込まれた方の多くが被災者であることから、募集

枠を超えた12基分は町の単独費で手当てし、希望者全員に補助する。

また、従来の標準施工金額の4割補助から5割補助となるよう上乘せして助成を行っている。

②震災からの復旧・復興を優先し、当面、豊間根地

**質問** 豊間根の稲作を守るためにも汚水処理は急ぐべきでは。

**豊間根農林課長** 豊間根・荒川地区の水田については、用水の中に浄化槽からの排水が入らなくなるよう、県が平成27年度までに整備する計画である。

区全域については、町の上乗せ助成等により、合併処理浄化槽での汚水処理を進めていきたい。

## 福祉行政

# 震災関連死の状況は

## 50件中35件を認定

**質問** 震災関連死認定の状況について問う。

**沼崎町長** 町では、平成23年9月に独自で山田町災害弔慰金支給審査会を設置し、認定事務の迅速化を図っている。審査会は今まで6回開催し、50件を審査している。結果は認定35件、不認定8件、審査継続が7件で、24年5月10日に

開催された審査会後に新たに14件の申請があった。関連死については23年12月号と24年6月号の広報やまだに掲載し、周知を図っている。窓口業務については、今のところ問題ない。

**質問** 関連死が認定され弔慰金が支給されれば、遺族にとってこれからの生活の支えになり、歩みだすため

**尾形健康福祉課長** 肺炎が大部分である。

**質問** 避難所で体調を崩され脳梗塞となり、合併症として肺炎を併発し亡くなった人もいる。避難所の運営や管理等で防げた死もあったのではと考えるが、避難所のあり方などはどう考えているか。

**尾形健康福祉課長** これから検討させていただく。

## そのほかの質問

- ◆子供の医療費の無料化について
- ◆県立山田病院の再建について
- ◆山田町の放射能汚染の実態と対策について

## 町の考えを聞く

町では、平成23年9月に独自で山田町災害弔慰金支給審査会を設置し、認定事務の迅速化を図っている。審査会は今まで6回開催し、50件を審査している。結果は認定35件、不認定8件、審査継続が7件で、24年5月10日に